

6月の果実の見通し

令和4年5月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	山形 など	657	150%	1087	2435	安い	2063	538	82.0%	山梨産は結実不良により6割作の予想であるが、山形産については生育良好である。ハウス物（佐藤錦や紅秀峰）は母の日を境に販売の動きは落ち着いている。6月は梅雨の時期でもあり天候次第で変わるが、山形産の紅さやかは5月末頃から出荷予定。また佐藤錦は早場園地で6月5～10日頃よりスタート。ピークは20日前後と思われる。紅秀峰は6月下旬より初出荷を迎える。秋田産は6月下旬から始まる。
すいか類	千葉 熊本 鳥取 など	8559	90%	9237	252	並み ～ 高い	238	2	0.0%	【大玉】熊本産は5月中旬がピークでありその後は昨年並みの出荷状況。肥大良好で3L・4Lの出荷。販売環境は売り込みを広げている点とほかに売る品目が少なかったことで売り場は広い。そのため順調な販売が続いている。千葉産は5月下旬よりハウス作柄がピークに入るが、昨年よりは少ない見込み。MA中心と平年並みの肥大。鳥取産は6月初旬からスタートする予定で順調な作柄である。 【小玉】5月の販売は着果不良を受け7割作となる。6月も天候不良を受け昨年より少ない見込み。販売環境は出荷が少ない予想のため引き合いが強くなる予想。熊本産、黒小玉は昨年の65%を見込んでいる。全体に数量減単価高と見込まれる。
ぶどう類	島根 山梨 など	504	95%	554	1979	並み	1744	11	2.2%	シャインマスカットは全国的に増加傾向にあるものの6月の出荷量は微増となる。山梨産デラウェア・ピオーネ・種無し巨峰の作付面積は昨年比から微減。島根産デラウェアは生育遅れとなるものの出荷ピークに入る。山形産デラウェアは6月中下旬からとなるが、本年度は重油高から6月の出荷量は平年比から少ない。岡山産は5月末からシャインマスカット・ピオーネが始まり、6月に入りアレキサンドリアの販売が始まる。果専門店、百貨店、輸出等の販売が中心にはなるが、数量増加や露地物の販売に伴い少しずつ販売範囲が広がっていく。

6月の果実の見通し

令和4年5月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
もも類	山梨 など	1440	95%	1158	848	並み	797	0	0.0%	ハウスに関しては輸出での荷動きが盛んで、国内での需要を見ながら相場形成を行っていく。また前進傾向で終了も例年よりも早い見込み。露地物は例年よりも早い生育状況のため、山梨産の早場の産地は6月中旬頃から「ちよひめ・はなよめ」の出荷が始まり、和歌山産も始まってくる。下旬には山梨産日川白鳳の出荷開始。6月は多品種の露地物が出揃ってくるため、桃の売り場を確保していく相場形成が重要となる。
メロン類	茨城 千葉 熊本 静岡 など	4268	95%	4508	473	並み ~ 高い	442	138	3.2%	【アールスメロン】今年は早い梅雨入りにおいて下旬頃から品質の低下が予測される。また夏系品種に切り替わり小玉が若干だが多く出荷される。総体では食味は良好と言える。入荷量は前年をやや下回る予想。 【その他メロン】昨年より生育が遅れ、大玉傾向だった昨年から今年は平年並みから小玉傾向となり、天候不順の影響で下等級比率が例年より高めになる予想。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)